

考え方

人口減少下においても、一人ひとりが幸せを実感でき、経済的にも精神的にも豊かで安心して住み続けられる地域を創るとともに、活力ある社会・経済を構築する。

これまでのWGでの意見、地域の声、有識者意見、道民意識調査、新たな総合計画(原案)を勘案

課題	重点的に取り組むべき事項（想定される主な対応策）		論点
① 人手不足	人材の確保・育成	<p>多様な人材の労働参加の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 若者、女性、高齢者、障がい者、長期無業者等の労働参加の促進 ● 外国人を含む多様な人材を活用するダイバーシティマネジメントの推進 ● 協業化、共助、兼業、副業、マルチタスク等「一人多役」の推進 ● リカレント教育、リスキリングの推進 <p>人材の確保対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各分野毎の人材確保対策の強化、地域偏在の解消 	<p>①左記の内容について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加すべき事項がないか ・優先度（重点化）について ・緊急度（時間軸）について <p>ご意見頂きたい。</p> <p>②左記内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果や進捗を図る指標としてふさわしいと考えられる指標についてご意見頂きたい。
A I ・デジタル化		<p>産業・暮らしにおけるDXの推進等による生産性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 産業や暮らしなど、あらゆる分野において、A I ・デジタルの活用による生産性の向上、高付加価値化、労働力不足解消 	
② 社会・経済の活性化（強靱化）	<p>潜在力発揮による成長</p> <p>〔国内外からの需要取り込み地域への波及〕</p>	<p>本道の優位性、ポテンシャルを活かした産業の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国内外から求められる魅力的で質の高い食を持続的に生産 ● ゼロカーボン北海道の推進による環境と経済・社会の好循環 ● デジタル関連産業の一大拠点の形成によるくらし・経済の発展 ● ポテンシャルを発揮し、持続的に発展する世界トップクラスの観光地 ● ものづくり・成長分野産業の振興、スタートアップの創出・集積、優位性を活かした企業立地の促進 	<p>参考 新たな北海道総合計画（原案・事務局案）指標の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性・若者・高齢者就業率 ・ 障がい者雇用率 ・ 雇用充足交通事業者割合 ・ 医師少数区域数 ・ IT企業の従業員数 ・ 付加価値生産性 ・ 食料自給率 ・ 観光入込客数 ・ 一人当たり観光消費額 ・ 再エネ導入量 ・ 半導体ビジョン関連指標 ・ 企業立地件数 等
③ 地域・コミュニティの維持	<p>広域連携、地域づくり</p>	<p>人口規模に適応した社会システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域相互の連携・補完の推進等の広域連携による持続可能な地域づくりの推進 ● コミュニティや集落の維持に向けて、地域運営組織、特定地域づくり事業協同組合、社会的起業等、地域づくりに参加できる仕組みの構築 ● 全ての人々がお互いに支え合い、役割を持って自分らしく活躍する地域共生社会の実現 ● 持続可能な地域交通や物流の維持・確保 	